

安定肥効で天候不順に立ち向かえ!! 追肥不要で省力・低コスト

肥料成分の利用率が高い
環境保全型肥料

ベストマッチ®

抑制キュウリに 「キュウリ用794」

17-9-14-Mg2

促成キュウリ、半促成キュウリ、
露地キュウリにもおすすめします。
「野菜用L692」、「果菜用404」
も適します。



促成トマトに 「越冬トマト用454」

14-5-14-Mg2

トマトの生育に適した安定溶出を
確保できます。
「イチゴ用057」、「イチゴ用001」
も適します。



ブロッコリー、キャベツ、白菜(1~2月獲り)に 「葉菜用268」

22-6-8-Mg1-B0.05

定植~収穫期まで安定溶出。
年明け獲りなら「葉菜用556」、
年内獲りなら「野菜用M086」、
「葉菜用581」をおすすめします。



8~9月に追肥、秋冬どりネギ土寄せ開始に 「白ネギ用880」

18-8-10 有機態窒素率約5.5%

土寄せ時に管理機の爪にも左右され
ない柔軟性を持ち安定肥効が続きま
す。秋冬定植~5、6月収穫の初夏獲
りネギには元肥一発で使用できます。



●ハウレンソウ、コマツナ、チンゲンサイが元肥一発3作連続栽培!

ベストマッチ「ハウレンソウ3作用967(19-6-7-Mg2)」を使用するメリット

1 施肥後1~3作目の生育期間中、安定した肥効を示し、気象等の
環境変異や圃場環境にも比較的左右されにくい肥料です。

2 作付け期間短縮

「年、プラス1作!」に挑戦できる。

3作の期間内で化成肥料に比べて少なくとも8~10日短縮。

※有機肥料に比べると14~20日短縮が期待できます。

3 省力&低コスト

2作目・3作目の施肥作業&追肥代を削減できる。

「ハイチツン銘柄」で袋数を減してコスト軽減できる。

4 小松菜、チンゲンサイ(セル苗定植)等の3作栽培でも実績あり。

●ネギ栽培でも実績があります。土寄せ(耕起)してもベストマッチは弾力性に優れ、強度があるので、3回の耕起でも心配なし。

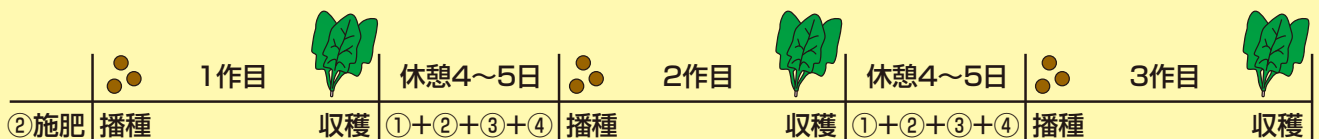
●ハウレンソウ2作連続には「葉菜用268」、「野菜用M086」をおすすめします。

2作目、3作目の畑の準備で差が付きまず!

ハウレンソウ3作連続栽培における作業	化成肥料	ハウレンソウ3作用	ベストマッチのメリット
①残渣持ち出し	2回	2回	-
②施肥	3回	1回	省力 2回分減
③耕起	3回	3回	十分な強度
④畑に肥料を馴染ませる為 4~5日間休	2回	なし	合計8~10日間短縮
播種	3回	3回	安定した溶出

ベストマッチの性能を活かして「年、プラス1作!」に挑戦!

従来の施肥だと…前作収穫後①残渣持ち出し→②施肥→③耕起→④畑に肥料を馴染ませるため休憩→播種



ベストマッチ肥料「ハウレンソウ3作用967」(19-6-7-Mg2)では…前作収穫後①残渣持ち出し→③耕起→播種のみ

